

1 議事日程

[平成23年太宰府市議会 決算特別委員会]

平成23年9月16日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成22年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
日程第2 認定第2号 平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第3 認定第3号 平成22年度太宰府市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
日程第4 認定第4号 平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第5 認定第5号 平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第6 認定第6号 平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第7 認定第7号 平成22年度太宰府市水道事業会計決算認定について
日程第8 認定第8号 平成22年度太宰府市下水道事業会計決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	渡邊美穂	議員
委員	陶山良尚	議員	委員	神武綾	議員
〃	上 疆	議員	〃	芦刈茂	議員
〃	小島真由美	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	藤井雅之	議員	〃	原田久美子	議員
〃	後藤邦晴	議員	〃	橋本健	議員
〃	不老光幸	議員	〃	小柳道枝	議員
〃	佐伯修	議員	〃	村山弘行	議員
〃	福廣和美	議員	〃	大田勝義	議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（23名）

市長	井上保廣	副市長	平島鉄信
教育長	關敏治	総務部長	木村甚治
地域づくり担当部長	今泉憲治	市民生活部長	古川芳文
健康福祉部長	井上和雄	建設経済部長	神原稔
会計管理者併上下水道部長	三笠哲生	教育部長	齋藤廣之
総務課長	古野洋敏	経営企画課長	石田宏二
市民課長	原野敏彦	納税課長	高柳光

福祉課長	宮原 仁	高齢者支援課長	平田 良富
国保年金課長	坂口 進	都市整備課長	今村 巧児
上下水道課長	松本 芳生	施設課長	加藤 常道
教務課長	木村 裕子	監査委員事務局長	関 啓子
人権政策課長・同和政策係長 兼男女共同参画推進係長	前田 米子		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長	田中 利雄	議事課長	櫻井 三郎
書 記	花田 敏浩	書 記	茂田 和紀

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

本日は285ページ、国民健康保険事業特別会計から始めます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第2、認定第2号「平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

お諮りします。

特別会計については、事項別明細書の歳入から審査に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

292ページ、1款国民健康保険税から入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） ページごとにもう行きたいと思いますので、そこそこで質疑がありましたら言ってください。

292ページ、293ページ、よろしいですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、294ページ、95ページ、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） では、次に296ページ、297ページ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、298ページ、299ページ、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次に、300ページ、301ページ、資料要求等あっておりますが、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 最後、次の302ページ、303ページ、よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

304ページ、305ページ。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次に行きます。

306ページ、307ページ。

藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 委員長、済いません。保険給付費について質問したいんですけども、この次の308ページ、309ページまでまたぐんですけどもよろしいでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) はい、許可します。

○委員(藤井雅之委員) はい。じゃあ、委員長許可がありましたので、あわせて決算審査資料の22ページもあわせて質問させていただきますけども、この療養給付費の関係で今の国保の加入者の方の大体平均の入院日数を出していただいていますけども、15.9日というふうになっていますけども、これは当然国保全体の加入者の方の病院の入院日数であると思いますので、その国保に加入しておられる方がどこの病院の、看護体系とかでも当然変わってきますでしょうから、そういった部分ではもうちょっと詳細に分析が必要かなとも思ったりするんですけども、たしか厚労省の基準では、この平均在院日数というのは通常の8対1看護の病院ではたしか14日というのが基準として定められていたと思いますけども、それを考えたときに今のこの平均入院日数が15.9日ということで出されていますけども、太宰府市の国保の今後の給付費のあり方として、この国の平均入院日数、在院日数にあわせた対応といいますかね、そういった部分の対応策を、これは国保のこの給付費の状況から見てその保健センターなり、介護保険のところとの連携策というのを考えておられるのか、お示してください。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(坂口 進) 資料にあります1件当たり太宰府市としましては15.9人、平成21年度は16.1日でしたので、幾分かは日数的には減少しております。これは太宰府に限らず福岡県としましては人口10万人に対しての病床数、全国平均が1,260床、福岡県は1,734床、病院数におきましても全国平均が6.9カ所、福岡県が9.3カ所となっております、全国的に福岡県が医療費の高い要因となっております。この入院日数をいかに減少していくための連携をとっていくかということでございますけども、今のところとしましては具体的にどのような連携をとりながら入院日数を減少していくか、具体的なものはございませんけども、特定健診等によって病気にかからないような、そういう体づくり、そちらのほうを重点的にやっていきたいとは思っております。

○委員長(門田直樹委員) 藤井委員。

○委員(藤井雅之委員) 今、課長が言われましたその病気になりにくい体づくりという部分で、どうしても入院日数が長くなる、例えば慢性的な疾患があるというのはわかるんですけども、それを大体カバーするところが外科とか整形外科とか、そういった部分のところが入院日数を今いかに短くしていくかということが可能な診療科目であると思うんですけども、その病気に

なりにくいだけじゃなくてですね、例えばもう一点加えたとしたら、その整形外科的な視点でけがをしにくい体づくりというのともあわせて対応していくべきだと考えますけども、このレセプトを点検している業者さんに今後もうちょっと入院日数を細かく出してもらうことを国保年金課としても検討すべきじゃないかと思うんですけども、それも電子レセプトが導入されれば可能になってくるんじゃないかなと考えますけども、その点まで答弁をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 現在の分析としましては、事務報告の61ページにありますように入院、入院外、歯科、調剤などの分類しか今できておりません。平成23年度から電子レセプト化がされておりますので、その辺の分析、詳細な分析ができるかどうかについては、国保連合会のほうでシステムを開発しておりますので、その辺を問い合わせしながらやっていきたいと考えております。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 済いません。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 済いません。1ページ戻って305ページでいいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） はい、いいですよ。

福廣委員。

○委員（福廣和美委員） 関連。

○委員長（門田直樹委員） はい。今の関連ですか。

じゃあ、ちょっといいですか、後で。

福廣委員。

○委員（福廣和美委員） いや、今藤井委員のほうから入院日数のことが出ましたけども、あくまでもそれは平均で平均日数をとってあるんだらうと思うんですけども、それをね、減らす方法とか、そういうのは具体的にあるんですか。私は、向こうは健康な体やからいいけど、私は病気の立場からいうとね、慢性の入院した経験からいくと、その入院日数を減らすということがね、非常に難しい問題だと思いますよ。たかだか2週間ですよ、ね。交通事故で入院したって骨折すれば2週間なんかでとてもじゃないですよ。それをどうやって減らすのかね、言葉上では簡単に言えるけども、実際病院に入った人からすればもう次の病院に移らにゃいかん。そこは退院できる状況じゃないのに今退院させられるという状況でしょう。次の病院がなかったら、その病院には行くまでどうするのかというね。現実的な病気のことから考えるとね、非常に理不尽なことを言われているような気がするわけですよ。それは国の平均は国が平均ですからそういうことで努力するんでしょうけども、具体的にそういう何かないとね、そりゃ減らしますとか言われんですよ。具体的にどうやってそれを減らすのかという方法を考えんと、体を幾ら丈夫にしたからって、これ平均ですから、悪い人が2カ月、3カ月入院すれば、そりゃ崩

れることですからね。そこらあたりちょっと具体的に答えてくださいよ。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 確かに言われますように、入院日数を減少していくための具体的な方策につきましては、外科もございます。それに対して今後どのように減らしていくかにつきましては、今後の課題として考えさせていただきたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 305ページの13節委託料1,075万5,541円、この中の給付事務電算委託料が事務報告書の178ページに載っていますけども、3段目のシステム改修業務委託の中で非自発的失業者軽減に係るシステム改修業務ということで、この言葉の意味がちょっとわからなくてですね、非自発的失業者というのはひきこもりとかというふうな方々かなと思うんですが、ここに係るシステムという言葉もちょっとわからなくて、それをどう改修するのかという言葉もちょっとわからなかったものでご質問しました。濟いませぬ、よろしくお願ひします。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） この非自発的失業者、これは平成22年4月から制度改正されたものでございまして、会社を自己都合ではなく解雇、リストラされて国保に加入された場合ですね、所得に対しては100分の30で税額計算をなささいという改正がされております。その改正に合わせたところの、ここにありますのはシステム改修費として131万2,500円、平成22年度計上させていただいております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 関連して1つ聞きたいんですが、このシステム改修というのは具体的には恐らく何かそういうソフト、アプリケーションがあると思うんですけど、例えば何か率を変える、数字を一部変えるだけだと思うんですけどね。いつも同じようなことを言っとるんですが、そういうふうなのは変わるという前提で、例えば税率が変わったらソースプログラムを全部やりかえる必要はないんであって、パラメーターでオペレーションの中で与えれば済むことだと思うんですけどね。最初からそういうふうな設計をカスタマイズしていけば、こういう金額がそう上がってくることはないんじゃないかなと思うんですけど、その辺はどうでしょうか。

どうぞ、国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 今、委員さんが言われますように恒常的に税率改定、こういう見込みが立てられるものにつきましては当初からそういうシステムを組んでおります。しかし、昨今の景気の低迷によって非自発的失業者が国保に加入されたとき、計算としましては前年の所得でいきますので、その辺の改正ということで新たに出てきたシステムでございまして、このような金額、予測できなかったということでのシステム改修費でございまして。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませぬか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) じゃあ、進めます。

306ページ、307ページ、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

308ページ、309ページ、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 続きまして、310ページ、311ページまでよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 続きます。

312ページ、313ページ、5款、6款までいいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、314ページ、315ページ、よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 316ページ、317ページ。

渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) これは資料要求してしまして、決算審査資料の22ページなんですけれども、特定健診なんですけど、これ受診率、国の設定はたしか70%以上だったと思いますけれども、国のほうですね、そろそろこの目標数値を変えとかですね、そういったような動きは国のほうにはあるんですか。

○委員長(門田直樹委員) 国保年金課長。

○国保年金課長(坂口 進) この特定健診の受診率、これは平成24年度末で65%、特定保健指導につきましては45%という目標値が設定をされております。ただし、後期高齢者医療制度、目標値が達成できなかった場合は後期高齢者支援金を加算、減算しますよということになっております。ただし、後期高齢者医療制度は平成24年度末で廃止をされますので、この受診率につきましての加算、減算についても見送るという方針が今出されておまして、ただ新たな医療制度が平成25年度から創設をされる予定になっております。その中においても、やはり医療費の抑制を図っていくためには特定健診、特定保健指導は継続していくということも示されておまして、ただ具体的にどのようにインセンティブといいますか、ペナルティーを科していくかということまでは今至っておりません。

以上です。

○委員長(門田直樹委員) 渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) そのペナルティーが科されないかもしれないけど、科されるかもしれない、それはどうなるかまだ動向としてわからないんですが、このパーセンテージ見る限りですね、国の設定したその今平成22年度、23.2%、国の設定は65%ですよ。非常にここかけ

離れていまして、実際私も特定健診を受けるんですけども、前の健康診断のときよりもですね、やはり受けにくいという気がします。広報に入ってきた中の部分を自分で切り取ったり、あるいはほかのほうで自分で切り取って自分で保健センターのほうに連絡してというふうなことがあって、以前はもう少し簡略化したやり方をされていたと思うんですね。もしかしらですね、その平成25年度ぐらいからペナルティーが何らかの形で科されるかもしれないということを見ると、やはりこの受診率の向上というのは具体的に考えていかなくちゃいけないと思います。実際、自治体によってはですね、既にもう50%を超している自治体もあるんですね。そういった先進自治体がですね、この受診率向上のために具体的にどういう方法をとっているのかということをもう少し検討されて、せめてですね、この受診率、40%か50%台ぐらいに持ってこれるような目標設定してやっていかれるべきだと思いますけど、今、来年度に向けて具体的な何か方法は考えてありますか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 平成20年度にこの特定健診が保険者に義務化されて、その後受診率の向上のための取り組みとしましては、1月までの受診期間を1カ月延ばして2カ月まで、年齢によって病院での個別健診、また集団健診を分けておりましたが、それは個人で選択できるように改めをしております。それに伴いまして、周知目的ということですべての方に受診券を送付して周知を図っております。

それと、太宰府市の商工会が実施しております健診データの提供も受けておまして、さらに拡大を図りまして、筑紫地区の商工会で行っています健診データにつきましても提供してもらうようお願いをしております。

今後に向けましては、受診率が高い市町村のどういったことをしているかということをお調べしますと、受診されていない方に対して受診勧奨通知ですね、そういったものを出して受診率の向上を図っておりますので、太宰府市としましてはそういったものを取り入れながら受診率の向上を図っていきたくと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○副委員長（渡邊美穂委員） わかりました。もう平成23年度で今から平成24年度の予算編成に入っていくわけですけども、さっきおっしゃったように平成25年度からですね、もしかしらたら、また別の形で国保の料金が上がったとか、そういうペナルティーを科せられる可能性もあるわけですから、できるだけそういったことも含めて早く市民の方に周知してですね、皆さん国保の入り方自体の料金が上がるんですよ、受診しなければ上がるんですよというふうなことをやはりきちんと、上がるんですよって、上がる可能性があるということをやはりきちんと伝えていただくことを要望しておきます。

○委員長（門田直樹委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 特定健診と特定保健の指導についての自己負担についてなんですけど

も、年齢別に自己負担の金額を教えてくださいんですけど。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 個人負担につきましては、69歳までが1,000円で、70歳以上74歳までの方につきましては500円でございます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） そしたら、その特定保健指導につきましては、自己負担のほうは要らないんですか、要るんですかね。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 当初の受診をしていただくときに個人負担をしていただきますけども、その後指導の対象となった方についての料金は徴収はしておりません。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） ありがとうございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃ、進めます。

318ページ、319ページ。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 基金の積み立ての関係で伺いますけども、これは定期的に予算決算のときに聞いていますけども、その太宰府の今国保の会計の基金が14万円ちょっとという状況ですけども、この基金の部分をですね、今後どういった形で増やしていこうと考えておられるのか、現状何か対応策を持っておられましたらお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 基金の積み立てにつきましては、平成17年度まで、この財政調整基金ございました。その後、歳入不足を補うために基金の取り崩しを行いまして、国保の収支を保ってきた経緯がございます。平成18年度からは利子だけの積み立てを行っております。月平均しますと約3億4,000万円ほどの給付費の支払いを行っております。インフルエンザなどが流行しますと多額の請求がありますので、そういった場合に備えて基金があればと思いますけども、現年度の財政状況が厳しく基金を積む財源がございません。まず、累積赤字がございますので、収支改善に重点を置いていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃ、進みます。

最後の320ページ、321ページ、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、322ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑は終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号「平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第2号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時22分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成22年度太宰府市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、認定第3号「平成22年度太宰府市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

328ページ、1款支払基金交付金から入ります。

これは歳入一括で質疑をやりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、328ページからですが、331ページまでですね。歳入につきまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、続きまして332ページから335ページまでの歳出に関しまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、336ページ、実質収支に関する調書につきまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「平成22年度太宰府市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時24分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第4、認定第4号「平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

340ページをお開きください。

これに関しましても、340ページから343ページの歳入を一括して質疑をしたいと思えます。よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それじゃ、340ページから343ページの収入について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、進みます。

344ページから347ページ、歳出に関しまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、348ページ、実質収支に関する調書につきまして質疑はご

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号「平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第4号については認定すべきものと決定しました。

(認定 賛成17名、反対0名 午前10時25分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第5、認定第5号「平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

354ページをお開きください。

これに関しましても、歳入歳出それぞれ一括でよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、354ページから361ページまで歳入につきまして質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、362ページ、歳出ですが、ページはこれたくさんありますね。これ少しページ単位で進みますので、歳出の362ページ、363ページに関しまして質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、続いて364ページ、365ページについて質疑はございません

か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 次の366ページ、367ページ、質疑はありませんでしょうか。

渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) 済いません。これ資料要求出しておけばよかったんですけど、この介護認定です、不服申し立てというのは平成22年度どれぐらいありました。ありませんでしたか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 平成22年度は不服申し立てはございませんでした。

○委員長(門田直樹委員) 上委員。

○委員(上 疆委員) 367ページの細目001介護の関係ですが、まず賃金ですけれども、認定調査員1,000万円ちょっとですが、何名おられるのでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 認定調査員は平成22年度4名、4人でございます。

○委員長(門田直樹委員) 上委員。

○委員(上 疆委員) 4名。はい、関連で。

この方々は資格とか何か要るんですかね。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 介護認定審査というケアマネージャーの資格を持っております。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

上委員。

○委員(上 疆委員) その項の一番下ですが、訪問調査委託料984万2,700円は相手先はどこでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) これにつきましてはですね、直営で今ご質問ありました4名以外が行きますところの分の委託分でございますので、これはですね、いろんな事業者、認定行います事業者がございます。どこというあれじゃなくて何カ所もございます。

○委員長(門田直樹委員) 上委員。

○委員(上 疆委員) そうすると、その委託料という意味がちょっとわからないんですが、そうすると委託じゃなくて個々に調査員以外の方が行かれるということですか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) これはですね、ケアプラン、介護認定調査につきましては1件当たり5,000円に消費税で5,250円ということで、各事業所にそういうことができる事業所に委託しております委託料でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにございませつか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

368ページ、369ページに関して質疑はありませつか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

370ページ、371ページはございませつか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

372ページ、373ページ、質疑はありませつか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

374ページ、375ページ、ありませつか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 376ページ、377ページ。

渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) 2項の包括的支援事業・任意事業費の中のですね、この運営協議会というのは、これは地域包括支援センターの運営協議会というふうを考えてよろしいのでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) はい、そうございます。包括支援センターの運営協議会ございます。

○委員長(門田直樹委員) 渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) 私、はっきりしたことがいつも又聞きでわからないんですけど、包括支援センターってかなり人の出入りというか、おかしいですね。職員の入れかわりが平成22年度は割とあったというふうな話を聞いているんですけども、何人ぐらいの方がやめて、どれぐらいの方がその平成22年度新しく採用されているんですか。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 細かい資料、今手元にございませつかので、調べて後ほど回答させていただきますのでよろしいでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 渡邊委員。

○副委員長(渡邊美穂委員) そのときでもいいんですけども、この運営協議会、これ事業報告書見たら1回しか開かれてないんですよ。一応職員等がかわったときは必ずその運営協議会にかけて、その職員をどうするかとかということは当然協議会の中でも検討されなきゃいけないと思うんですけども、この運営協議会がですね、平成22年といたら直営になってまだ直

近なので、1回しか開かれてないということがですね、非常に不思議なんですけども、1回しか開かれなかった理由というのは一体何なんですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 運営協議会ですけども、平成22年度は1回、平成21年度はたしか2回開いていると思います。この1回は決算の報告、それから包括支援センターの運営状況等の説明をしているということで1回の開催になっております。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○副委員長（渡邊美穂委員） じゃあ、本年度平成23年度は今までに何回開かれていますか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 今1回でございます。それで、また法改正とかがございますので、それについてまた開く予定にしております。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 377ページ、これは2目のところの細目001介護予防一般高齢者施策事業費の関係ですが、ここも賃金、保健師さん何名なんですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 嘱託の保健師3名でございます。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） その下のまた包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費の関係で関係ですが、事務補助員は何名ですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 特別会計のほうで計上しております事務補助員のところでございますけれども、これについては介護支援専門員、いわゆるケアマネを7名、それから事務補助員1名、計8名分を計上させていただいております。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃ、進みます。

378ページ、379ページに関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進めます。

渡邊委員。

○副委員長（渡邊美穂委員） 成年後見制度なんですけれども、これはたしか24ページ、資料要求させていただいているんですけど、これ平成22年度ですね、利用件数が1件しかないということで今後この成年後見制度、もう少し広めていくような具体的な次年度に向けてのお考えはありますか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） ここ1件って上がっておりますのは、あくまで市長申し立ての分が1件でございます。

相談に関しては、包括支援センターのほうにも成年後見に関する相談が大体21件ほど上がっております。

それから、今委員さん申されましたようにこういう成年後見制度の充実ということで、こういう会議といいますかね、そういう広める講演会とかを開いていこうと計画しております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、進みます。

380ページ、381ページに関して質疑は。

上委員。

○委員（上 疆委員） 381ページの細目004ですが、徘徊高齢者等家族支援サービス事業委託料ということですが、これにつきましては内容等を聞いてみないとわからんですが、金額は2万2,050円というふうにかなり安い金額なので、その辺も含めて説明ください。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 徘徊高齢者等家族支援サービス事業と申しますのは、認知症による徘徊高齢者を介護している家族等に対してですね、所在不明とかなったときに位置を把握できるように、実際これセコムなんですけども、そこを契約してペンダント型の発信機といいますか、それを給付しているものでございます。一応利用は今3名でございます。なかなか利用は多くないんですけども、それで初期費用は5,000円かかっておりまして、月に500円の費用がかかっております。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） ちょっといいですかね。その関連で、じゃあその機械そのものはどんなもの、大きいんですか、小さいんですか。その携帯用、携帯の電話ぐらいですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） そんな大きくはないんですけども、今技術大分進歩しておりますけど、一般のペンダントって皆さん考えるよりは少し大き目と考えていただいたほうがいいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 首に下げる分。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） じゃあ、進みます。

382ページ、383ページ、質疑はございませんか。最後ですね、これ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次、384ページ、実質収支に関する調書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

388ページ、歳入から入ります。

もう388ページ、389ページ、歳入に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、390ページ、391ページ、歳出に関して質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） また、これも同じことですが、ケアプラン作成スタッフ関係費、391ページの事務補助員が何名でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） ここで上げておりますのは、4人分の事務補助員の費用でございます。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、392ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」認定す

ることに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

(認定 賛成17名、反対0名 午前10時38分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第6、認定第6号「平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業
特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

396ページをお開きください。

歳入歳出を一括して質疑を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、396ページから401ページまで、歳入歳出につきまして質疑
はございませんか。ごめんなさい。401ページまでが歳入ですね。歳出が402ページから403ペ
ージまでですね。質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、404ページ、実質収支に関する調書について質疑はありま
せんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号「平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定につい
て」認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第6号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時40分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成22年度太宰府市水道事業会計決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第7、認定第7号「平成22年度太宰府市水道事業会計決算認定について」を議題といたします。

それでは、まず1ページ、2ページ、報告書の概況につきまして質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） ちょっと決算審査資料の25ページで水道管の耐震化の関係出していただきましたので、ここの建設改良の関連があるかなと思ひまして伺いますけれども、現在の太宰府市の水道管のその耐震化率が2%という状況と、総延長数も出していただいておりますけれども、今後この耐震化率の普及といいますかね、向上が大きな課題になってくるかなと思うんですけれども、具体的な年次計画的なもの、例えば何年にどれまで持っていこうとか、そういったものはお持ちなのか、まずお聞かせください。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） 水道施設のこの耐震化ですけれども、これ平成17年以降に耐震構造のものに順次切りかえるというか、第六次拡張事業につきましてはこの適用を行っております。

それから、耐用年数の経過に応じて順次布設がえするときに耐震構造に切りかえていくという事で、現在都府楼団地にはもうほぼ導入しています。都府楼団地が終わりますと梅香苑に入っていきます。そういうことで、施設が古いものの順からですね、布設がえに応じて耐震構造にきりかえていくということにしております。一応そういう形で進めていきます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） それで、関連して伺いますけれども、例えば今回の東日本大震災クラスの地震が起きたときにですね、この水道管のその耐震化の状況がありましたけれども、ああいった地震が起きたときに、その耐震化されてないところの復旧とか、そういった部分への対応等の見通しというのはどれくらいかかるものなのか、今現状想定されているものをお聞かせいただけますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） この震災というのは、その箇所的にですね、非常に絞り込むのが難しいですけれども、今回の大震災で教訓を得ましたのは避難場所ですね、避難場所にかに給水とか、下水のほうもありますけれども、そういったことを復旧させるかということがありました。そういうことで、そういう避難場所の大きなところが学校というところが一つ大きいんですけれども、学校等の公共施設、そして医療機関、そういったところを優先的にですね、この耐震工事をまず進めるということが重要かなというのを考えています。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、次のページから大体のページ単位で行きたいと思いますが、まず3ページ、4ページに関して質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2の工事、5ページ、6ページに関しまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、業務、7ページ、8ページに関しまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 会計の9ページ、10ページ、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、11ページのその他に関しまして質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進めます。

12ページ、13ページ、14ページ、15ページまで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、16ページの損益計算書、17ページ、剰余金計算書、18ページまでですね。それから、19ページ、剰余金処分計算書まで質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、20ページ、21ページの貸借対照表に関しまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 22ページ、23ページ、進みまして27ページまでの明細書に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは最後、28ページ、29ページ、30ページ、最後まで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「平成22年度太宰府市水道事業会計決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第7号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時46分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 認定第8号 平成22年度太宰府市下水道事業会計決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第8、認定第8号「平成22年度太宰府市下水道事業会計決算認定について」を議題といたします。

1ページをお開きください。

まず、1ページ、2ページの概況につきまして質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） こちらも同じく耐震化の関係で決算審査資料で25ページ、出していただきましたけども、これも先ほど伺いました水道事業会計と同様に老朽化したところから順次対応していくという認識でいいのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） 下水道の場合はですね、布設がえをするというのは非常にもう難しいことだということです。それで、今国のほうで進められていると申しますか、全国でやられているんですけども、長寿命化計画というのがあります。これは、要はどういうことかという、下水道管そのものはですね、太宰府の場合はほとんど塩ビ管を使用しておりますので、耐震構造のもの、耐震対応になっています。ただ管と管のつなぎ目とか、マンホールと管のつなぎ目とか、そういったところの補強が必要だということと、大体大きな管については塩ビ管じゃなくてコンクリート管が使っておりますので、ここは内側をコーティングしていくというような工法、そういったことを長寿命化計画というんですけども、いわゆる耐用年数50年を70年なり80年に引き延ばしていくというような、そういう進め方があります。そういうことを、一応目標として平成24年度、来年度中にそういう計画を立てていきたいというふうに思っています。耐用年数からいきますと、大体今耐用年数50年のところをですね、35年が経過しているところですので、大体ならばその15年はまだ余裕があるというんですか、耐震的にはいろいろ調査しないとわからんのですけども、寿命的にはそういうことになっています。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにごございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3ページをお開きください。

3ページについて質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進めます。

2の工事、4ページについてありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5ページ、6ページから7ページまでですね。5ページ、6ページ、7ページについて質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

8ページ、9ページにつきましたて質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 10ページ、11ページ、その他について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

決算報告書、12ページ、13ページ、15ページまで質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

16ページの損益計算書、17ページの剰余金計算書に関して質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

ごめんなさい。18ページまでだったですね。含めて、19ページ、処分計算書まで質疑はございませんか。

上委員。

○委員(上 疆委員) 確認ですけども、16ページに重なるんですが、19ページのところの翌年度繰越利益剰余金8,136万1,384円が、16ページの前年度の繰越利益剰余金と同じ金額なんですよ。これ間違いないんでしょうか。

○委員長(門田直樹委員) 上下水道課長。

○上下水道課長(松本芳生) これも前年度から繰り越された利益剰余金8,000万円は当面その何かのときに赤字補てんのできるように8,000万円は保留しておくということでございます。処分をやるのは当年度純利益が出た金額、いわゆる今年ですと約2億8,300万円ありますけれども、その金額について全額を減債積立金のほうに積み立てるということで、8,000万円は融通できるところに保留しとくと、そういう考え方なんです。

○委員長(門田直樹委員) 上委員。

○委員（上 疆委員） それで、8,000万円ならわかるんですよ。いわゆる金額が1円まで合っているの、そんなに合わす必要があるのかいな。どこで合わせたのか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） これはもうとにかく先ほど言いましたように当年度の純利益を全額を積み立てるということですので、繰り越されたものはもうそのままずっと繰り越していくという考えで置いています。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、20ページ、21ページの貸借対照表につきまして質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

22ページ、23ページから24ページまでですね。明細書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページ、26ページまで明細書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、27ページについて質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、28ページ、29ページ、31ページまで、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第8号「平成22年度太宰府市下水道事業会計決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第8号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時53分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

（高齢者支援課長平田良富「済いません、委員長。委員長、よろしいでしょうか」と呼ぶ）

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 済いません。先ほど介護保険事業特別会計の審査の中で調べて答えるという分がございましたので、今よろしいでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） はい、許可します。

○高齢者支援課長（平田良富） 包括支援センターの人員、嘱託職員の入れかわり人員ということでご質問でしたけれども、計3名の入れかえがっております。うち1名は保健師でございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査はすべて終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時54分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成23年11月18日

太宰府市決算特別委員会委員長 門 田 直 樹